学力向上だより

＃１１　文責 学力向上推進係 杉浦

花川小の子どもたちの「音読する力」がどれくらいかを確認するために、音読実態調査を行いました。今までも最低学力保障のテストの一つとして、教科書の文を音読するテストは行ってきましたが、今回は「初見の文（初めて見る文章）」が、どのくらい読めるのかを調査しました。（最低保障学力テストは、合格・不合格がありますが、今回は調査なので合格・不合格はありません。）

１分間に何文字読めれば学年の音読の力に到達しているかの目安は以下の通りです。

１年生・・・１００字　２年生・・・１５０字
３年生・・・２００字　４年生・・・２５０字
５年生・・・３００字　６年生・・・３５０字
（国語科到達度・絶対評価ワークシート
市毛勝雄　編より）

「音読」とは、与えられた文章を、声に出してすらすらと滑らかによむ学習である。音読が遅い子どもたちは、黙読のスピードも遅い。音読を訓練するのは、黙読の正確さと速さを高めるためであり、子どもたちの将来の読書量を確保するためである。

高学年以上でも、音読を訓練すれば黙読を速くすることができる。

（国語科到達度・絶対評価ワークシート
市毛勝雄　編より）

今回の音読実態調査は、６月ということで前学年の教材文で行いました。（１年生は、１年生の教材文で行っています）。今回の結果をもとに、音読が苦手な子ども達が、なぜスラスラ音読できないのかの原因を探り、３月に行う現学年の教材文で行う調査では、今より少しでもスラスラ読めるようになるように支援していきましょう。具体的な支援の方法は、夏休み明けに提案します。